

地域経済分析システム（RESAS） 平成28年度 第2次リリース（2月末）の予定について

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局
内閣府 地方創生推進室
ビッグデータチーム

平成28年度 第2次リリースのポイント

- 平成29年2月末に予定している第2次リリースにおいては、①新規メニューの追加、②搭載データの一部入替え、③メニュー構成・名称の見直しを行う。
- 新たなデータ追加によって内容の充実を図るとともに、メニュー構成の見直しなどで利便性を向上させることにより、自治体はもとより、支援機関や教育機関などにおけるRESASの更なる利活用を促す。

① 新規メニューの追加

- 「まちづくり」や「雇用／医療・福祉」という新たなカテゴリーを設け、「通勤通学人口」、「施設周辺人口」や「求人・求職者」、「医療需給」などのメニューを追加する。
- 既存のマップにおいても、「表彰・補助金採択」や「人口メッシュ」などの新たなメニューを追加し、データの充実を図る。

② 搭載データの一部入れ替え

- 以下の既存メニューについて、よりサンプル数が多いデータに入れ替えを行う。
(From-to分析（滞在人口）、滞在人口率、外国人メッシュ)

③ メニュー構成・名称の見直し

- 「マクロからミクロへ」という分析の基本的な流れや、目当てとするマップの探しやすさなどを踏まえ、利用者の利便性を高めるため、メニュー構成・名称の見直しを行う。

メニュー構成・マップ名称見直しの基本的な考え方

- 平成27年4月の運用開始以降、順次マップの追加を行ってきたが、マップ数が増加する中で、データの所在が分かりにくくなったり、マップの名称に重複感があるといった状況が生じている。
- 上記を踏まえ、平成29年2月末に予定している第2次リリースにおいて、新たなマップの追加と併せて、**メニュー構成・名称の見直しを実施**する。

1 「全体を俯瞰するマクロの視点から、各分野ごとのミクロの視点へ」という分析の基本的な流れに合わせて、マップの順序を入れ替え。
(まず、「人口」、「地域経済循環」⇒その後に、「企業活動」、「観光」等の各分野という順序に)

2 分野横断的なものとなっていた「自治体比較マップ」の各メニューを、関連する分野別に再配置。
(例：「自治体比較マップー地方財政」の「一人当たり地方税」⇒「地方財政マップ」に再配置)

3 データの特性が把握できるように、一部のメニューの名称を変更。
(例：「外国人消費分析」⇒「外国人消費の比較（クレジットカード）」)

4 国内の人の移動に関するメニュー（From-to分析（滞在人口）、滞在人口率、流動人口メッシュ）は、観光以外の人々の移動も含むため、「観光マップ」から新設する「まちづくりマップ」に再配置。

5 「～花火図」というメニュー名称を、内容に即して「～の構造」、「～取引」といった名称に変更。
(例：「全産業花火図」⇒「全産業の構造」、「輸出入花火図」⇒「輸出入取引」)

メニュー構成見直しの概要

今までのメニュー構成			今後のメニュー構成	
第一階層	第二階層	第三階層	第一階層	第二階層
産業マップ	-	-	人口マップ	-
地域経済循環マップ	-	-	地域経済循環マップ	-
農林水産業マップ	農業マップ	-	産業構造マップ	全産業
	林業マップ	-		製造業
	水産業マップ	海面漁業マップ		-
内水面漁業マップ		-		農業
観光マップ	-	-		林業
人口マップ	-	-		水産業
消費マップ	-	-	企業活動マップ	企業情報
自治体比較マップ	経済構造	-	観光マップ	海外取引
	企業活動	-		研究開発
	労働環境	-		国内
	地方財政	-		外国人
			まちづくりマップ	-
			雇用／医療・福祉マップ	-
			地方財政マップ	-

産業構造マップ、
企業活動マップへ

地域経済循環マップへ

産業構造マップへ

観光マップ、
まちづくりマップへ

人口マップへ

産業構造マップへ

各マップに再配置